

研究課題名 胆道閉鎖症患児への再採掘手術の意義に関する研究に関する情報公開

1. 研究の対象

2013年12月1日から2021年10月31日の間に、当院で胆道閉鎖症に対する腹腔鏡下肝門部空腸吻合術を行った患者

2. 研究目的・方法・研究期間

目的：

胆道閉鎖症において肝門部空腸吻合術（Kasai）後に自己肝を保つことは重要です。我々は開腹Kasai後の開腹再採掘術によって一定数が自己肝で成長可能であることを報告しました。現在は標準術式を腹腔鏡下肝門部空腸吻合術とし、腹腔鏡下再採掘術を行っています。世界的にも腹腔鏡下再採掘術についてまとまった報告はなく、今回胆道閉鎖症に対する腹腔鏡下再採掘術の意義について検討します。

方法：

2013年12月1日から2021年10月31日の間に、当院で腹腔鏡下肝門部空腸吻合術を行った患者の術中術後経過について、診療記録より後方視的に検討します。基礎疾患や患者背景、手術時期、手術情報（術式、術中所見、手術時間、出血量、輸血量、麻酔等）、術中合併症、術後経過（合併症、入院期間、再入院、再手術、栄養状態、呼吸状態等）について診療録より抜粋し、検討します。

研究期間：

2022年1月25日（実施承認日）から2023年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、原疾患、治療の経過、手術時期、手術情報、術中・術後合併症、術後経過（合併症、再手術等）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科病態外科学講座 小児外科学分野

研究責任者名 住田 互

2022年1月11日作成 Ver.1

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話 052-744-2959 FAX 052-744-2980